

# 中国国際学会報告書

*The IEEE 11th International Conference on ASIC (ASICON 2015)*

平成27年11月10日

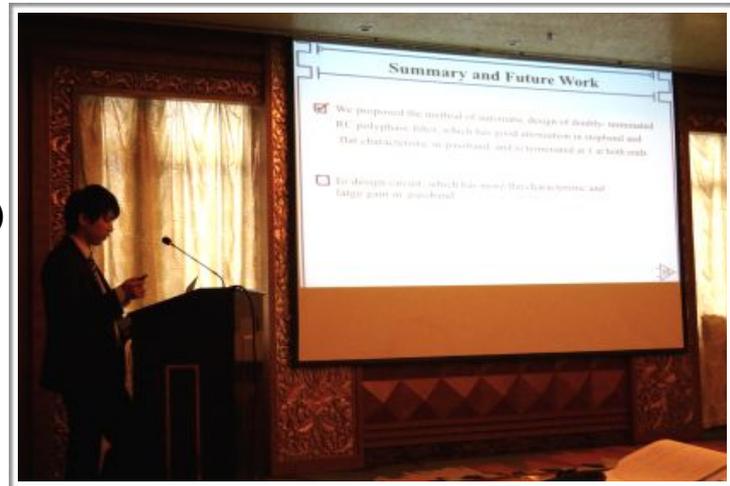
群馬大学大学院 理工学府

理工学専攻 電子情報・数理教育プログラム

修士1年 菅原 誉士紀

## ◎基本情報

学会名称：The IEEE 11th International  
Conference on ASIC (ASICON)  
場所：中国 成都 Wangjiang Hotel  
滞在期間：2015年11月2日(月)～7日(土)



発表の様子

## ◎日程

- 2日(月)：羽田空港より出発、ホテル到着後夕食
- 3日(火)：終日成都観光（パンダ繁殖基地、武侯祠）
- 4日(水)：終日学会参加
- 5日(木)：終日学会参加（**発表日** Start at 11:45, at Bruei Meeting Room）
- 6日(金)：終日学会参加
- 7日(土)：成都空港より出発、羽田空港到着後解散

## ◎発表タイトル

**Yoshiki SUGAWARA**, Nobukazu TAKAI, Masato KATO, Hiroaki SEKI,  
Kento SUZUKI, Haruo KOBAYASHI,  
“Automatic Design of Doubly terminated, Automatic Design of Doubly-terminated RC  
Polyphase Filters by Using Distributed Genetic Algorithm,”  
The IEEE 11th International Conference on ASIC, Wangjiang Hotel, Chengdu City, China  
(Nov. 4-6, 2015)

## ◎国際学会の目的

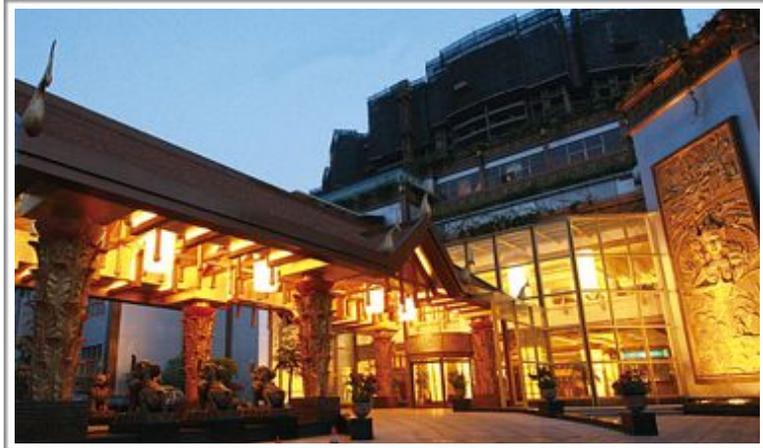
- (1) 海外の学生のレベル（発表内容のレベル、英語力）に触れ、国際的な自分の立ち位置を確認する。
- (2) 日本と比較し、現地の環境や人間性の違いを学ぶ。

## ◎得られた成果

- (1) 当研究室の発表内容のレベルは国際的に戦えるレベルであった。発表後、技術に感心を持った何人かの方が質問に来てくださった。連絡先を交換したため、今後互いの知識を共有する予定である。
- (2) 日本出身の発表者の危機的な英語力不足に気付いた。
- (3) 現地の環境、特に交通インフラに関して大きな違いを学んだ。
- (4) 中国語に感心を持つようになった。

今回の1週間で学んだ事の多くの事柄は、日本では得ることができないものであった。特に、海外の学生の発表を見ることができたことは、貴重な経験となった。発表者の大半は中国出身であり、母国語は中国語である。日常生活で英語を使用する機会が多いとは考えにくいですが、英語を流暢に話すことができる学生が大半であった。反面、私たち日本人学生の英語レベルは低く、決して流暢にコミュニケーションを取ることができるとは言えない。卒業後、国際社会において活躍するためにも、日本人学生全体の英語力の向上が必須だと感じた。発表内容に関しては、良いものであったと感じた。当研究室の発表内容に感心を持って下さった方は多く、質疑応答では活発な意見交換が交わされた（英語力があればさらに良い討論になった）。

また、日本と中国の生活環境の違いが印象に残った。観光旅行で海外に訪れる場合、観光客用にインフラが整備された観光地を訪ねることが大半である。しかし、学会で訪れた地は一般的な住民が住んでいる町である。そのため、道路が老朽化している、信号システムがうまく機能してしないなどといった問題があるよ



会場のホテル(Wangjiang Hotel)



成都市内の路地裏



Ito Yokado

うに感じた。タクシーを利用した際も、運転面で日本と比べてしまうと不安なシーンが非常に多く（案外すぐに慣れてしまった）、さらに、交通量も非常に多いため、交通インフラシステムを整備する必要があると感じた。

次に、現地の方々との交流（買い物に出ると、中国語でたくさん話しかけてくれます）の印象を報告する。飲み屋街へ赴いた際、多くのキャッチの方々呼び込みに来たが、これは日本と同じような印象を受けた。しかし、スーパー（中国のイトーヨーカドー）へ買い物へ行った際も、食料品店のおばさま方から熱烈な呼び込みを受けた。たくさんの試食をくださることは嬉しかったが、最終的におばさまに周りを囲まれて動くことができなくなってしまった。言語が分からないため、耐えられず、”Sorry, I cannot understand Chinese. Do you speak English?”と返答したところ、途端に目がキュンとなり”No”と一言。完全勝利を感じた瞬間だった。それ以降は笑顔のみで話しかけてくることもなく、暖かい視線を感じながら買い物を楽しむことができた。学んだことは、自分も意見を主張する必要があるということである。多くの日本人は自分の意見を主張できないと言われているが、やはり良くないことだと感じる。国際社会で生きるためにも、ニコニコしているのではなく、自分の意見をしっかりと主張し相手を動かしていく能力が必要であると感じる。

最後に、今回の学会の機会によって、中国語に興味を持った。今回学会へ参加した研究室のメンバーには中国出身の方がいるため、その方から中国語を教わり、日常会話を少しずつ勉強した。やはり覚えた言語が相手に通じると嬉しく、（返ってきた言葉が全く分かりませんでした..泣）近隣大国である中国と将来協力しながら国際社会を盛り上げていくためにも、今回で学習を終わるのではなく、さらに進めていきたいと感じた。



## ◎オフショット

学んだことが多かった今回ですが、同時に楽しかったこともたくさんありました。オフショットとして楽しかった思い出を紹介していきたいと思います。

中国大陸の迫力に感動..!



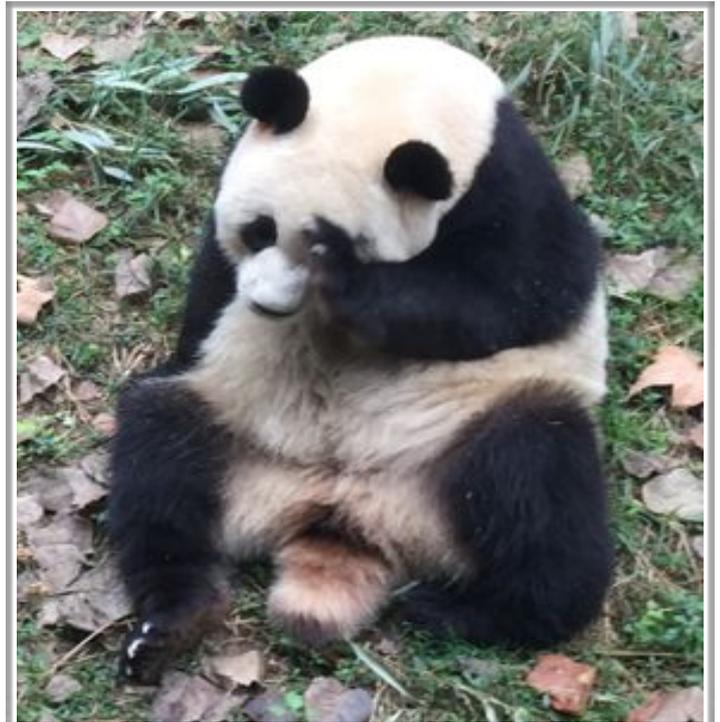
ハズレ.. (具を乗せて食べるようです)



パンダ(熊)×ドラ\*\*\* (猫)  
まさに**大熊猫** (中国語でパンダ)



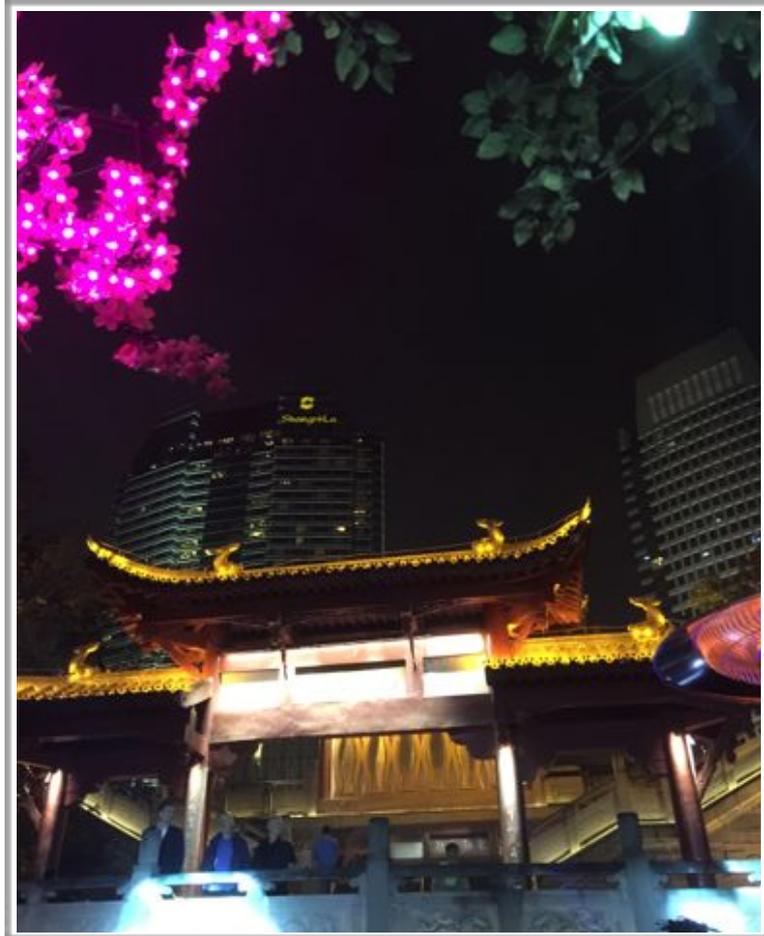
悪い、今日は笹の気分じゃないんだ



初めての四川料理！  
スパイスが痺れる！うまい！



四川大学付近のお洒落な景色



チンタオビールで乾杯！



こんなお洒落なカクテルも..



成都のゲームセンター  
ゲームに勝つとチケットが貰えます  
(景品と交換)



最終日に服装が被ってしまった二人

Looks happy



大量獲得で喜ぶ荒船と澁谷！



荒船エ...



◎最後に

今回得た経験は、今後の学生生活のみならず将来に必ず生きると確信しております。このような貴重な機会を与えてくださった小林先生をはじめとする諸先生方に感謝いたします。ありがとうございました。

